

8 研究の方法及び基本的な考え方

ア 研究の方法

- ① 職員全員が役割を分担し、効率的な研修ができるようにする。
- ② 1人1研修担当・1人1研究授業を目標に全職員で研修を推進する。
- ③ 指導案検討は、研究授業の事前に1回行い、必要に応じて各部会を開く。
- ④ 全員が共通理解のもとに主題解明に関わるという考えから、指導案検討及び授業研究の司会や記録は交代で行う。 ○司会者，記録者の分担

授業者	1年	2年	3年	4年	5年	6年	専科
司会者	2年	3年	4年	5年	6年	専科	1年
記録者	専科	1年	2年	3年	4年	5年	6年

- ※ 授業中の児童の様子（保健的観点から）：養護教諭 授業記録（写真，ビデオ撮影）：柁木
※ 小中連携に関しての司会者は，関係校に依頼するのでこの限りではない。

- ⑤ より深く研究を深めるため，可能な限り講師を招く。
- ⑥ 各種研究会や研究視察，県総合教育センターの講座などには1人1回を前提に積極的に参加するようにする。
- ⑦ 各種研究会などに参加した際は，資料などを提供し研究に役立てるようにする。
- ⑧ 研究のまとめとして，本年度の研修内容を冊子としてまとめる。

9 研究組織

